

【15 回用 (2021 年度)】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
自己管理と社会規範		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
星野 浩章	416	h.hoshino	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	自己管理に関しては、自分自身の管理、即ち学生生活をいかに自律的に過ごすか、自分自身をどのようにに制御しつつ、調和のとれた社会生活を送るか等について考えと共に、看護師として患者の自己管理をどのように支援するかについても体験的に学ぶ。社会規範に関しては、自分自身の善悪や行動の規範は何か、それが何に基づくものか、社会全体のルールに合致したものかなど、個々の規範意識について振り返り、社会人として、看護に携わる職業人としての行動規範を身に付ける。				
学習上の助言	この科目の学修は初年次教育の一環として、学生として必要な基本的な力を付けることも目標にしているため、自己理解を深めるためにも、自分自身の課題として、各テーマに取り組んでほしい。				
教科書	特に指定なし				
参考書	中学・高校時代の「道徳」や「公民」、「倫理」「現代社会」の教科書・副読本・資料集等を各自探しておくこと				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	自己の管理とはどういうことか、またそれがどのような意味を持つのかを理解できる。	HUS(1),(2),(5)			
②	自己管理が社会生活を営む上で果たす役割を具体的に理解し、説明できる。	HUS(1),(2),(3),(5)			
③	自分自身の自己管理と他者の自己管理への支援、共に取組む意識を持つことができる。	HUS(2),(3),(4),(5)			
④	社会規範とは何か、様々な具体例を挙げて説明できる。	HUS(1),(2),(5)			
⑤	自分自身の規範意識が社会人としてふさわしいかどうか振り返りができる。	HUS(1),(2),(3),(5)			
授 業 計 画					
回	学修内容等	授業の方法	学修課題・学修時間 (時間)		
1	授業内容の概要と今後の授業形態に関する説明。自己管理の項目ごとに各自の目標を設定し、目標管理シートの作成をする。	講義・演習	目標管理シートに従って、取り組み方をまとめて実施する	1	
2	各自の目標に沿って1週間の取組をグループ内でそれぞれ発表し、他のメンバーから支援(助言)を受ける (グループは7名単位)。	GW	各自支援の内容を受けて、再度目標に向けて取組む。	1	
3	各自の目標に沿って1週間の取組をグループ内でそれぞれ発表し、他のメンバーから支援(助言)を受ける (グループは7名単位)。	GW	各自支援の内容を受けて、再度目標に向けて取組む。	1	
4	自分自身の自己管理と他からの支援との関係をレポートにまとめる	講義・演習	レポートを仕上げ次回に提出する。後日解説を加え返却	1	
5	クリニカルラダーとは何か、また看護の職場においてどのような役割をもつかについて理解し、ラダーの一覧表を完成させる	講義・演習	クリニカルラダーの一覧表を整理する。	1	
6	自分自身のセルフマネジメントと患者のセルフマネジメントについて、それぞれの内容を学修資料に基づき問答を通して具体的に整理する。	講義	両者のセルフマネジメントの意味と役割を、学修資料に沿ってまとめる。	1	
7	アンガーマネジメントとは何かを理解し、テスト形式の評定表を通して自己分析し、自己管理の一手段を獲得する。	講義・演習	アンガーマネジメントを各自実施し、怒りの型を確認しておく。	1	
8	先のグループごとに役割と場面設定を決め、ロールプレイを通してアンガーマネジメントを実際の場面で体験する。	GW	自分自身の怒りとの付き合い方を整理する。	1	
9	看護職としての自己管理ということについてレポートを作成する。達成度評価・評価のポイント参照	演習	レポートを仕上げ次回に提出する。後日解説を加え返却	1	
10	社会規範の意味について、学修資料に基づいて個別に問答しながら考察する。	講義・演習	慣習や風習、伝承など身近にあるものを調べてまとめておく。	1	
11	社会規範とは何かについて、具体的な項目ごとに整理する。また自分自身の行動や判断の規範は何か、個々に考察する。	講義・演習	自分自身の行動や判断の規範が何に基づくかまとめる。	1	
12	法・道徳・宗教・倫理など生き方、在り方として具体的に考察する学修資料に基づいて個別に回答及び意見交換して学修を進める	講義・演習	社会規範の具体例を配布資料に基づいて再度整理する。	1	
13	日本の社会の根底にある規範意識について理解する。学修資料に基づいて個々に回答を求め、意見交換しながら学修を進める	講義・演習	現代社会の問題を規範意識の面から考察し、課題資料にまとめる。	1	
14	日本文化の特性や社会に特有の精神について項目別に考察する(言葉の特性、神の見方、罪悪感等) 学修の進め方は同上	講義・演習	日本の文化的特質を多様な面から考察し、資料に回答する。	1	
15	日本文化の特性や社会に特有の精神について項目別に考察する日本的な精神(人間関係等) 学修の進め方は同上	講義・演習	日本の文化的特質を多様な面から考察し、資料に回答する。	1	
試	日本人の特性と看護の職場での関わりを考察し、クラス単位のグループでのやり取りをしながらレポートにまとめる。				

【15 回用 (2021 年度)】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	50	30	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	10	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	5	15
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポート課題3回分について、この学修が今後予想される仕事の中で、どのように生かされるか、また自分自身の課題としてどのように生かしていくかが考えられているかを評価する。評価割合は、知識10%、思考20%、表現力・課題解決力20%				レポート課題3回に対して、理解の傾向や内容等について各自のレポートに補足や解説等を加え返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①	✓	対面授業(授業形態によってはTeams内)での発表内容や調査・推論を整理して回答した内容を含めて評価する。評価割合は、発表(思考・表現)20%、取り組む姿勢・意欲10%とする。				個々の発表や各課題の提出後に、内容にコメントを加えたり、添削したりして理解度を高め評価を伝える。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワークやロールプレイなどの取組、対応力、指導力、コミュニケーション力を評価する。評価割合は取組・意欲5%、対応力・指導力・コミュニケーション力15%とする。				グループワークやロールプレイを実施後、その場で講評し評価を伝える。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
今後の事情によっては授業形態・内容・シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。また、感染症の状況によってTeamsを利用する授業形態になった場合、Power Point 視聴・同時双方向諸行為があるので、通信容量無制限のWi-Fi環境の確保を勧める。							